

# ワイヤレス受信機 WX-R8601

## 概要

本機は、ワイヤレスマイクWX-T8400 (別売品) 専用の800MHz帯ダイバシティワイヤレス受信機です。

- ワイヤレスマイクのトークスイッチA出力は2系統、B出力は4系統の音声を出力することができます。
- ダイバシティ方式を採用しており、各2入力アンテナによって電波の受信を確実にし、デッドポイントを低減します。
- 工場出荷時にはチューナーユニットが2台装着されています。
- 増設用チューナーユニット WX-D8200 (別売品) を4台まで増設できます。
- 受信機本体から、各2台のアンテナ感度をリモートコントロールすることができます。

## 定格

### 基本仕様

電源 : AC 100 V 50/60 Hz  
消費電力 (注) : 38 W  
周囲温度 : -10 ~ +50  
寸法 : 420(幅) × 88(高さ) × 291(奥行) mm  
高さはゴム足含まず。奥行は突起部含まず。  
質量 : 約6.7 kg  
(注) 電気用品安全法技術基準に基づく表示です。

### 受信部

アンテナ入力 : 50 ~ 75 2系統 2回路 BNCコネクタ  
WX-A8100/WX-A8105/WX-A8110用  
ファンタム電源出力  
DC 9 V ~ 12 V 70 mA最大 (ファンタム電圧による利得切換 3ポジション)  
受信周波数 : 806.125 ~ 809.750 MHz 30波中2波  
WX-D8200を4台増設で6波受信可能  
受信方式 : PLL制御ダブルスーパーヘテロダイン方式  
受信感度 : 45 dB以上  
(20 dB  $\mu$ V 入力,  $\pm 5$  kHz FMにて)  
スケルチ感度 : 20 dB  $\mu$ V以下  
トーンスケルチ : トークA : 32.736 kHz, トークB : 32.800 kHz  
S / N : 50 dB 以上  
(50 dB  $\mu$ V 入力,  $\pm 5$  kHz FM時)  
ひずみ率 : 3 % 以下  
周波数特性 : 100 Hz ~ 10 kHz  
(1 kHz基準 50  $\mu$ s エンファシス)

### 表示機能

ファンタム電源表示 : 1, 2, 1, 2  
緑 : 正常供給状態  
赤 : 異常状態 短絡時  
消灯 : 無接続または異常状態 断線時、アンテナ混合器使用時  
受信表示 : トークA, トークB  
赤 : 受信時連続点灯  
音声出力表示 : トークA2, トークB1 ~ B4  
赤 : 音声出力時連続点灯 ブランクパ  
ネル内

### 音声出力

トーク A 1 : -20 dB 600 不平衡 単頭プラグ  
チューナーユニット5,6のみ出力選択可能  
トーク A 2 : -20 dB/-60 dB (切換式) 600 不平衡  
複式プラグ  
ファンタム電源出力 DC7.5 V 65 mA  
(ON/OFFスイッチ切換)  
チューナーユニット5,6のみミュート選択可能  
トーク B1 ~ B4 : -20 dB/-60 dB (切換式) 600 不平衡  
複式プラグ  
ファンタム電源出力 DC7.5 V 65 mA  
(ON/OFFスイッチ切換)  
予備出力 : -20 dB 600 不平衡 端子台 21,22  
Aのみ, Bのみ, A+Bミキシング出力可能

### 音声入力

リモコンマイク1入力 : -20 dB 600 不平衡 端子台 1,2  
A, B1 ~ B4 出力先選択可能  
リモコンマイク2入力 : -20 dB 600 不平衡 端子台 11,12  
A, B1 ~ B4 出力先選択可能  
増設入力 A : -20 dB 600 不平衡 複式プラグ  
音声制御可能  
増設入力 B : -20 dB 600 不平衡 複式プラグ  
B1 ~ B4選択可能 音声制御可能  
B外部入力 : -20 dB 600 不平衡 端子台 23,24  
音声レベル調整可能  
B1 ~ B4出力先選択可能  
B1 ~ B4優先選択可能  
音声検出出力可能 端子台 27  
検出レベル調整可能

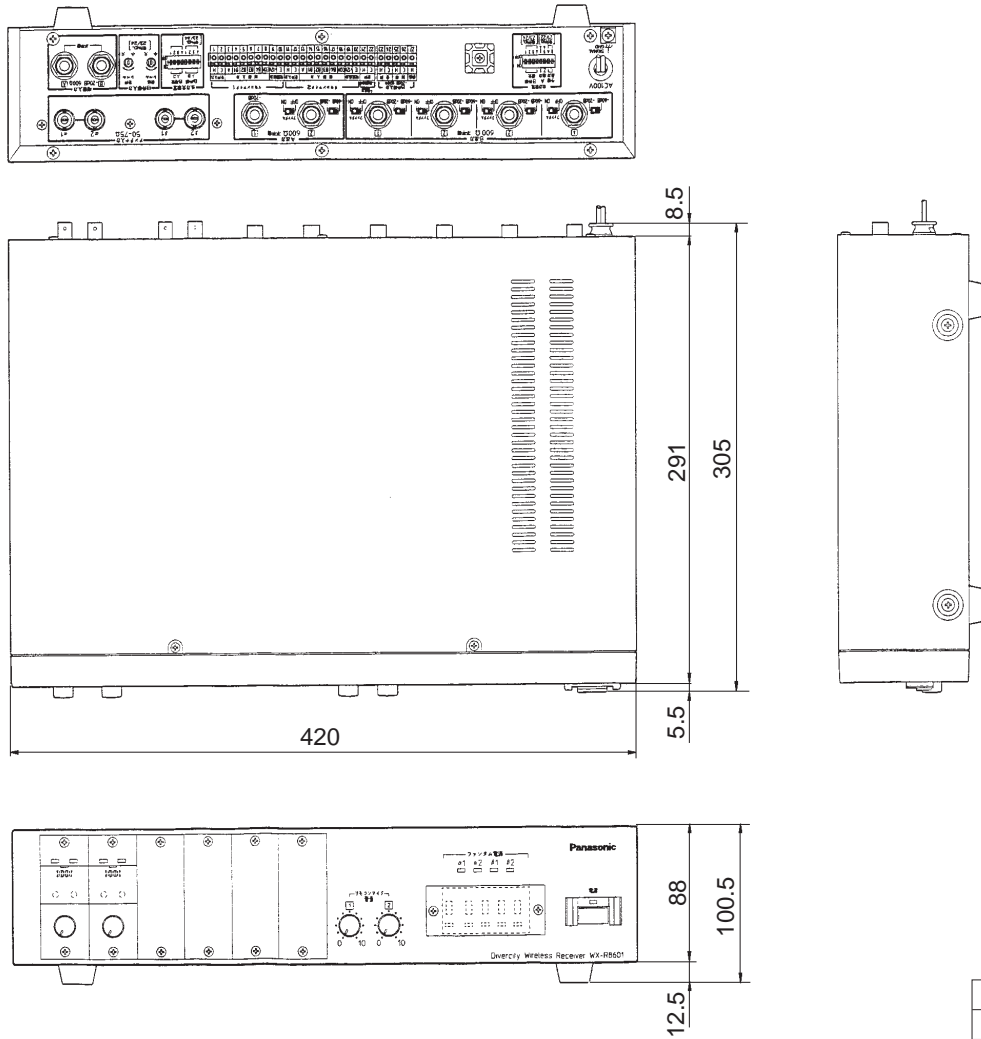
### 仕上げ

パネル : AVアイボリー色 ABS樹脂  
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)  
カバー : AVアイボリー色 塗装鋼板  
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

## 付属品

複式プラグ .....	1	取扱説明書 .....	1
単式プラグ .....	1	保証書 .....	1
小型ドライバー .....	1		

# 外觀寸法図



単位	mm
縮尺	1/5

# 受信周波数

周波数(MHz)	グループ									
	1	2	3	4	5	6	8		9	
							A	B	A	B
806.125	B11						B8A1		B9A1	
806.250		B21								
806.375	B12						B8A2		B9A2	
806.500		B22								
806.625			B31				B8A3		B9A3	
806.750				B41						
806.875			B32							
807.000		B23					B8A4		B9A4	
807.125	B13									
807.250						B61	B8A5		B9A5	
807.375			B33							
807.500				B42						
807.625					B51		B8A6		B9A6	
807.750	B14									
807.875		B24								
808.000				B43			B8B1			
808.125					B52					B9B1
808.250			B34							
808.375					B53		B8B2			
808.500		B25								B9B2
808.625			B35				B8B3			
808.750					B54					B9B3
808.875		B26								
809.000	B15						B8B4			
809.125				B44						B9B4
809.250			B36				B8B5			
809.375				B45						B9B5
809.500	B16									
809.625					B55		B8B6			
809.750										B9B6
運用チャンネル	6波運用					7～12波運用				

お願い

チューナーユニット1～6は、同一グループ・異チャンネルで使用してください。同じにすると、混信・ビートの原因になります。

Panasonic拡声ワイヤレスシステム(WX-4000シリーズ)と同一空間で使用する場合は本受信システムとWX-4000シリーズを、1つのグループに統一します。

- たとえばグループ1を使用する場合、チャンネル1～3をWX-4000シリーズに、チャンネル3～6を本受信システムに設定します。
- WX-4000シリーズをグループ1に設定し、本受信システムをグループ2に設定して使用することはできません。
- また、WX-4000シリーズは周波数が異なるため、ワイヤレス受信機WX-R8601を共用することはできません。

グループ8A,8B,9A,9Bを使用する場合はワイヤレス受信機WX-R8601を2台使用して7～12波使用の場合は、グループ8A,8B,9A,9Bを使用します。

この場合、次の点にご注意ください。

- Panasonic拡声ワイヤレスシステム(WX-4000シリーズ)と同一空間では使用できません。
- 8Aと8B, 9Aと9Bを組み合わせで使用します。8Aと9B, 8Bと9B等の組み合わせでは使用できません。
- 7～12波の運用では、受信機内部のせまいエリアモードで動作しますので、本機とアンテナの距離を、使用範囲最大距離の1/2以下でご使用ください。

## フィールド選択・アンテナ感度の設定

アンテナの受信するフィールドの大きさと、各アンテナの感度を設定することができます。  
アンテナ感度は、各アンテナを直接接続した受信機のアンテナ感度設定スイッチで設定します。

- 下記の表を目安に、フィールド選択およびアンテナ感度スイッチを設定します。

使用場所（参考例）		パチンコ店	小会議室	宴会場
使用範囲 アンテナからマイクまでの距離	最大	15m	8m	20m
	最小	2m	1m	2m
フィールド選択スイッチ	標準			
	狭い			

分配器	使用同軸ケーブル	同軸ケーブル長さ(m)																
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160
分配器を使用しない場合	5C-2V 5D-2V	-6dB	0dB	+6dB														
	5C-FB 5D-FB	-6dB	0dB	+6dB														
	7C-FB 8D-FB 5D-SFA			0dB	+6dB													
	10D-FB 8D-SFA					0dB	+6dB											
分配器を使用する場合	5C-2V 5D-2V	0dB	+6dB															
	5C-FB 5D-FB	0dB	+6dB															
	7C-FB 8D-FB 5D-SFA	0dB	+6dB															
	10D-FB 8D-SFA	0dB	+6dB															

数字は感度設定位置を示します。

- 各アンテナの同軸ケーブルに合わせて、個別に設定します。
- 50 系の同軸ケーブルも同様に使用できます。  
5C-2V= 5D-2V  
5C-FB= 5D-FB  
7C-FB= 8D-FB=5D-SFA  
10D-FB=8D-SFA
- 5C-FB以上の同軸ケーブルを使用する場合は、専用コネクタを使用し、BNC変換ケーブルで本機に接続してください。
- 50 系ケーブルを使用する場合は、変換ケーブルも50 系を使用してください。

- 実動作試験により音途切れが多く発生する場合は、アンテナ感度設定スイッチのポジションを1ポジション上げてください。（例： -6dB 0dB）

# ブロックダイアグラム

